

令和5年度  
第2期おかやま創生総合戦略  
効果検証  
(令和4年度実績)

令和5(2023)年11月  
岡 山 県

## 「第2期おかやま創生総合戦略」効果検証の概要

基本目標と重要業績評価指標（K P I）の達成状況を適切に把握し、対策の効果を検証した上で、必要な見直しと改善を図ることにより、翌年度の取組に生かしていくP D C Aサイクルを実施する。

なお、「第2期おかやま創生総合戦略」（以下、「第2期創生戦略」という。）は、県の最上位計画である「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」（以下、「プラン」という。）の各種施策を基本としていることから、検証に当たっては行政評価の結果を活用して行う。

### 【対策（4）の検証】

基本目標の進捗状況と政策パッケージの検証結果を踏まえ、対策の効果を検証する。

### 【政策パッケージ（15）の検証】

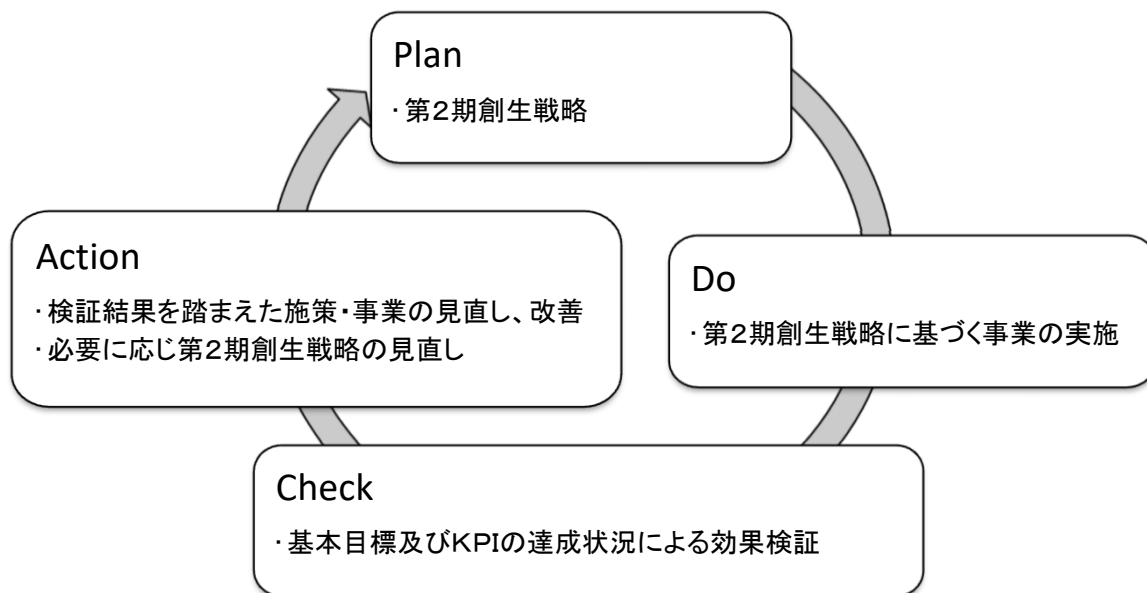
K P Iの達成状況と推進施策の評価結果（プランの施策評価による）を踏まえ、政策パッケージの効果を検証する。

### 【K P I（41※）の達成状況】

年度ごとにの達成率と達成度を算出する（プランにおける生き生き指標の評価方法に同じ）。

※重複分（地域おこし協力隊の新規着任数）を含む。

## PDCAサイクル



# 対策1 若い世代の希望をかなえる少子化対策の推進(自然減対策)

基本目標1	若い世代の結婚から子育てまでの希望をかなえる
基本目標の概要	合計特殊出生率が伸び悩み、出生数の減少に歯止めがかからない中、結婚しない理由としては、「適当な相手に出会わないため」が最も多く、また、理想の子ども数と予定する子ども数に差が生じている。さらに、核家族化の進行、共働き家庭の増加、地域のつながりの希薄化などによる、子育てに対する不安や負担感、孤立感の解消のため、結婚、妊娠・出産、子育てのさらなる支援に総合的に取り組む必要がある。

## 1 対策

### (1) 数値目標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>合計特殊出生率</b> 	現況値 2019年	目標値	目標値	1.49	1.50	1.51	1.52
	1.47	1.52	実績値	1.45	1.39		
			達成率(%)	97.3	92.7		
	単位	—	達成度	3	3		
	指標の説明	1人の女性とその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当したもの					

### (2) 検証結果

・社会全体で結婚や子育てを応援する気運を醸成し少子化対策を推進するため、結婚支援施策の一つとして「おかやま縁むすびネット」の普及、利便性向上を図ったほか、従業員の仕事と家庭の両立支援に積極的な「アドバンス企業」の認定、保育士・保育所支援センターにおける潜在保育士の掘り起こしときめ細かなマッチング等に取り組んだ。

・数値目標である「合計特殊出生率」は、新型コロナウイルス感染症の影響による婚姻数の減少や妊娠を控える動きもあり、全国平均の1.26よりも高かったものの、目標値を下回る結果となった。全国順位は20位、中国地方では5位となっている。

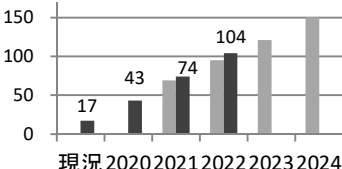
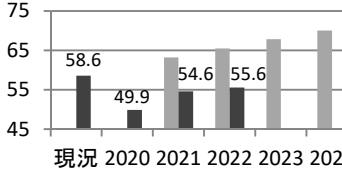
・重要業績評価指標（KPI）については、『おかやま子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に積極的な「アドバンス企業」認定数』をはじめ、「おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数」、「保育士・保育所支援センターが関わった保育所等への就職者数」などで目標を達成しているが、「妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合」は目標を達成できなかった。

・結婚支援の取組を一層強化していくほか、子育てに対する不安や負担感、孤立感の解消のため、社会全体で子育てを応援する気運を醸成し、結婚から妊娠・出産、子育てまで、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組み、若い世代の結婚から子育てまでの希望をかなえる環境づくりを強力に進めていく必要がある。

## 2 政策パッケージ

### <1-① 次世代育成に向けた気運の醸成>

#### (1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

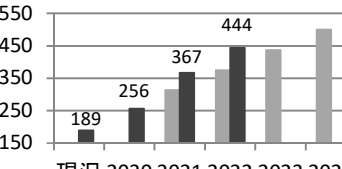
指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>おかもや子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に積極的な「アドバンス企業」認定数</b>  <p>現況 2020 2021 2022 2023 2024</p>	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	52 <69>	78 <95>	104 <121>	133 <150>
	17	150	増加数 実績値	57 <74>	87 <104>		
	単位	社	達成率(%)	109.6	111.5		
	指標の説明	おかもや子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に特に積極的な「アドバンス企業」認定数(達成率は現況値からの増加数で算出)					
	達成度	4	4				
<b>妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合</b>  <p>現況 2020 2021 2022 2023 2024</p>	現況値 2019年度	目標値	目標値	63.2	65.5	67.8	70.0
	58.6	70.0	実績値	54.6	55.6		
	単位	%	達成率(%)	86.4	84.9		
	指標の説明	20～34歳独身の男女を対象とした調査結果					
	達成度	3	3				

#### (2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・ 県中小企業団体中央会や庁内関係部局と連携し、制度の周知に努めたことにより、『おかもや子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に積極的な「アドバンス企業」認定数』は、目標を上回る104社となった。
- ・ 中高校生に対して妊娠や出産の正しい知識の普及啓発を実施し、若い世代が妊娠・出産を視野に入れたライフプランを考える機会を提供した。また、おかもや妊娠・出産サポートセンターや県不妊専門相談センターにおいて、専門的な相談に応じた。
- ・ 女性の就労支援講座を開催し、就職活動に役立つ情報提供を行った。また、男性の家事・育児参画を促すセミナー開催や企業への専門家派遣により、家庭・企業における男女共同参画の意識醸成とワークライフバランスの実現に向けた取組を推進した。
- ・ 若者の再就職、再入社等を応援することを県内企業が宣言する「おかもや若者再チャレンジ応援宣言企業」の促進や、県内経済団体等に対し、若年者の正社員採用等に関する働きかけ等を行った。

### <1-② 結婚の希望をかなえる環境づくり>

#### (1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>おかもや出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数</b>  <p>現況 2020 2021 2022 2023 2024</p>	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	124 <313>	186 <375>	248 <437>	311 <500>
	189	500	増加数 実績値	178 <367>	255 <444>		
	単位	組	達成率(%)	143.5	137.1		
	指標の説明	おかもや出会い・結婚サポートセンターが行った支援をきっかけに成婚した数(達成率は現況値からの増加数で算出)					
	達成度	5	5				

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

・性格診断機能の導入など結婚支援システム「おかやま縁むすびネット」の利便性向上に努めるとともに、結婚応援ボランティアのサポート等により、県内3カ所を拠点とするおかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数が累計444組となるなど、成果は着実に上がっている。

<1-③ 妊娠・出産の希望がかなう環境づくり>

(1)重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>妊娠・出産について満足している母親の割合</b> 	現況値 2019年度	目標値	84.3	84.5	84.8	85.0	
		実績値	84.0	85.7			
	83.9	85.0	達成率(%)	99.6	101.4		
	単位	%	達成度	3	4		
	指標の説明	産後に助産師等から指導・ケアを十分に受けることができたと感じている者の割合(速報値) ※確定値					

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

・市町村や保健所等との連携を強化し、母子保健等の推進を図ったほか、妊娠等で悩む人の相談体制の充実や、妊孕性等の正しい知識の普及啓発に取り組んだ。

・高度な医療を提供する周産期母子医療センターへの財政支援により、安定的な運営を図るとともに、関係者で構成する周産期医療協議会を運営し、周産期医療の課題改善、関係機関間の連携強化に取り組んだ。

<1-④ 子育て支援の充実>

(1)重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>保育士・保育所支援センターが関わった保育所等への就職者数</b> 	現況値 2019年度	増加数 目標値	144	216	288	362	
		増加数 実績値	162	218			
	158	520	達成率(%)	112.5	100.9		
	単位	人	達成度	4	4		
	指標の説明	潜在保育士の就職支援、保育所等の潜在保育士活用支援等に取り組む「保育士・保育所支援センター」が関わった保育所等への就職者数(達成率は現況値からの増加数で算出)					
<b>放課後児童クラブ実施箇所数</b> 	現況値 2019年度	増加数 目標値	34	51	68	87	
		増加数 実績値	54	65			
	618	705	達成率(%)	158.8	127.5		
	単位	箇所	達成度	5	5		
	指標の説明	保護者が昼間家庭にいない小学生の放課後等の居場所として運営されている施設の数(達成率は現況値からの増加数で算出)					

## (2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・保育士・保育所支援センターにおいて、潜在保育士の掘り起こしときめ細かなマッチングに取り組み、累計376名の保育所等への就職につながった。
- ・放課後児童クラブの実施主体である市町村に対し、運営費や整備費の補助、事業実施に係る助言等の支援を行った結果、「放課後児童クラブ実施箇所数」は683箇所となり、目標を大きく上回った。
- ・子どもの貧困対策の推進に係る、子どもの居場所の確保について、開設予定者に対するアドバイザーによる助言や立上げ経費の補助、民間団体間のネットワークづくりを進め、子どもの居場所の持続可能な仕組みづくりを支援することで、新たな子どもの居場所の開設につながった。
- ・小児救急医療電話相談事業（#8000）で年間約12,000件の休日・夜間の相談に応じることで、保護者の不安解消等が図られた。また、小児科医等で構成する小児医療協議会を運営し、小児救急医療の体制整備に取り組んだ。

## 対策2 つながり築き、人を呼び込む郷土岡山づくりの推進(社会減対策)

基本目標2	つながりを築き、人を呼び込む郷土岡山をつくる
基本目標の概要	近年、東京圏への人口一極集中が全国的に進む中、本県においても転出超過は拡大傾向が続いており、特に、進学や就職による若い世代の流出が多く、この世代の流出を抑制するとともに、人材の還流を進める必要がある。また、新型コロナウイルス感染症を契機として新たな生活様式による人とのつながり方や、テレワークの普及など働き方の変化が進む中、地方移住への機運の高まりや、距離を越えて人や組織等をつなげるデジタル技術の活用拡大も踏まえ、県外から人を呼び込む取組を強化する必要がある。

### 1 対策

#### (1) 数値目標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>社会増減数(外国人を含む)</b> 	現況値 2020年	目標値	増加数 目標値	371	671	1,071	1,572
	-1,571	転入超過 +1	増加数 実績値	<-1,200>	<-900>	<-500>	<+1>
	単位	人/年	達成率(%)	-	-		
	指標の説明	県毎月流動人口調査による、(転入者数) - (転出者数) (達成率は現況値からの増加数で算出)					
				達成度	1	1	

#### (2) 検証結果

- ・ SNS等による情報発信を行い相談窓口や移住・定住フェア等の来場につなげるとともに、移住者向けの空き家改修支援、移住希望者に空き家を紹介するなど、移住・定住の促進に努めた。また、若者の県内定着を進めるため、大学等と連携した合同企業説明会の開催やインターンシップの参加促進、おかやま就活サポーターである若手社員による県内就職の魅力発信などに取り組んだ。
- ・ 数値目標である「社会増減数(外国人を含む)」は新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、転入は、日本人が前年比1.3%増、外国人が156.8%増、全体では23.7%増の39,311人となったものの、転出も、日本人が前年比4.0%増、外国人が47.9%増、全体で11.9%増の40,898人となったため、前年度に比べ転出超過幅は縮小したが、目標値を下回った。
- ・ 重要業績評価指標(KPI)については、「移住相談件数」をはじめ、「県内大学留学生の県内就職率」、「全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数」などで目標を達成しているが、「インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合」などは目標を達成できなかった。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、再び東京圏への人口一極集中の流れが強まりつつあるが、移住希望者への情報発信や受入体制の整備を進めるとともに、若者の還流と県内への定着、郷土岡山を担う人材育成や魅力発信により、県外から人を呼び込む取組を強力に進めていく必要がある。

## 2 政策パッケージ

### <2-① 移住・定住の促進>

#### (1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>移住相談件数</b> 	現況値 2019年度	目標値	目標値	2,430	2,450	2,470	2,500
	2,430	2,500	実績値	1,499	2,759		
			達成率(%)	61.7	112.6		
	単位	件/年	達成度	1	5		
	指標の説明	県の相談窓口、県主催のフェア等における移住相談件数					
<b>地域おこし協力隊の新規着任数</b> 	現況値 2019年度	目標値	目標値	63	63	63	63
	63	63	実績値	56	80		
			達成率(%)	88.9	127.0		
	単位	人/年	達成度	2	5		
	指標の説明	都市部から地方へ移住し、地域の新たな担い手として期待される「地域おこし協力隊」の県内新規着任数					

#### (2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

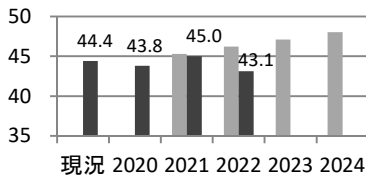
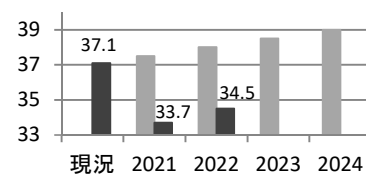
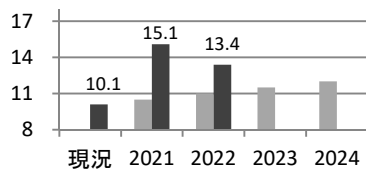
- ・ SNS等による情報発信を行い、相談窓口や移住・定住フェア等の来場につなげることにより、「移住相談件数」は目標を達成することができた。また、県空家等対策推進協議会を通じて市町村等と連携して空き家の適正管理の促進を図るとともに、県空き家情報流通システムを活用した移住希望者への空き家紹介や、移住者向けの空き家改修の支援を行った。
- ・ 市町村の募集事務、処遇改善等の支援や、関心ある層に向けたオンラインセミナー等を行うことにより、「地域おこし協力隊の新規着任数」は目標を達成した。
- ・ 実践的な研修により、職員の情報発信力を強化するとともに、Instagramで行うフォトコンテスト等の企画を行い、フォロワー数を増加することができた。
- ・ ポストコロナに対応した副業・兼業などの働き方の新しいスタイルや仕事と家庭の両立支援などを紹介するガイドブックを作成し、気運の醸成を図った。引き続き、多様な働き方に対する意識啓発を行う必要がある。

### <2-② 若者の還流・定着>

#### (1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合</b> 	現況値 2019年度	目標値	目標値	97.0	98.0	99.0	100.0
	95.3	100.0	実績値	88.2	80.6		
			達成率(%)	90.9	82.2		
	単位	%	達成度	3	3		
	指標の説明	高校3年間でインターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合(高校3年生)					



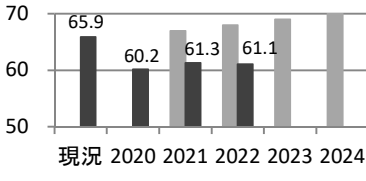
指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>県内大学新卒者の県内就職率</b> 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	45.3	46.2	47.1	48.0
	44.4	48.0	実績値	45.0	43.1		
			達成率(%)	99.3	93.3		
	単位	%	達成度	3	3		
	指標の説明	県内大学新卒者の就職者数に占める県内への就職者数の割合					
<b>本県出身の県外大学新卒者のUターン就職率</b> 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	37.5	38.0	38.5	39.0
	37.1	39.0	実績値	33.7	34.5		
			達成率(%)	89.9	90.8		
	単位	%	達成度	3	3		
	指標の説明	本県出身の県外大学新卒者で就職した者のうち、県内にUターン就職した者の割合					
<b>県内大学留学生の県内就職率</b> 	現況値 2015～2018 年度の平均	目標値	目標値	10.5	11.0	11.5	12.0
	10.1	12.0	実績値	15.1	※ 13.4		
			達成率(%)	143.8	121.8		
	単位	%	達成度	5	5		
	指標の説明	県内大学留学生の県内への就職率 ※2022年度実績は2023年12月頃に判明するため、2021年度実績により評価する。					

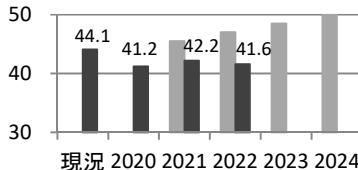
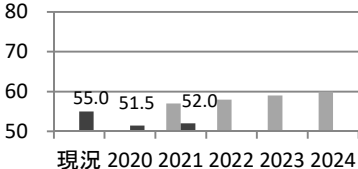
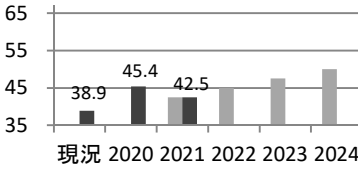
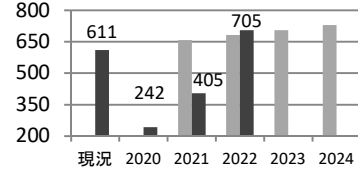
## (2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・県内外の大学生等を対象に、大学等と連携した合同企業説明会の開催やインターンシップの参加促進、おかやま就活サポーターである若手社員による県内就職の魅力発信などに取り組んだ。
- ・留学生を対象とした就職支援セミナーや県内企業との交流会のほか、県内企業向けの外国人材受け入れの法的手続き等を周知するセミナー開催などにより、「県内大学留学生の県内就職率」は目標を達成することができた。
- ・ポストコロナ期においてさらなるキャリア教育の推進を図るため、インターンシップや企業訪問の充実、経済6団体との包括連携協定に基づく仕組みも活用した企業との連携をより積極的に進める必要がある。

## <2-③ 地方創生を担う人材の育成>

### (1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小学校6年生)</b> 	現況値 2018年度 (2019年度調査)	目標値	目標値	67.0	68.0	69.0	70.0
	65.9	70.0	実績値	61.3	61.1		
			達成率(%)	91.5	89.9		
	単位	%	達成度	3	3		
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果					

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(中学校3年生)</b> 	現況値 2018年度 (2019年度調査)	目標値	目標値	45.5	47.0	48.5	50.0
	44.1		50.0	実績値	42.2	41.6	
			達成率(%)	92.7	88.5		
	単位	%	達成度	3	3		
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果					
<b>「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合(小学校6年生)</b> 	現況値 2018年度 (2019年度調査)	目標値	目標値	57.0	58.0	59.0	60.0
	55.0		60.0	実績値	52.0	※ 78.9	
			達成率(%)	91.2	—		
	単位	%	達成度	3	—		
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果 ※「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」に質問項目が変更されたため参考値として記載し、評価対象外とする。					
<b>「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合(中学校3年生)</b> 	現況値 2018年度 (2019年度調査)	目標値	目標値	42.5	45.0	47.5	50.0
	38.9		50.0	実績値	42.5	※ 65.7	
			達成率(%)	100.0	—		
	単位	%	達成度	4	—		
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果 ※「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」に質問項目が変更されたため参考値として記載し、評価対象外とする。					
<b>全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数</b> 	現況値 2019年度	目標値	目標値	658	682	706	730
	611		730	実績値	405	705	
			達成率(%)	61.6	103.4		
	単位	人/年	達成度	2	4		
	指標の説明	各種コンテストへの県立高校生の参加者数					

## (2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が縮小したことや、全国規模のコンテストの情報をわかりやすく集約してホームページに示したこと等により、各種コンテストの参加者数が大幅に増加した。
- ・郷土愛の醸成及び地域に貢献する人材の育成のため、好事例の普及に加え、学校・家庭・地域・企業等の連携や、「岡山型PBL」などの指導内容・指導方法等の工夫により、体系的なキャリア教育をより一層推進していく必要がある。また、規範意識向上のための各種非行防止対策等の推進により、県下の少年非行情勢については改善傾向を維持している。
- ・小中学生の離島での自然・伝統等の体験や、大学生が地域課題解決に向けて地域と協働して行う調査・研究活動を通じて、地域に対する理解や関心、愛着心を醸成できたほか、大学生等のボランティアを地域活動へ派遣し、地域づくりへの参加を促進した。
- ・県立大学において、県内企業等で活躍する卒業生によるキャリア形成に関する勉強会の実施、県内企業等へのインターンシップの実施、副専攻「吉備の杜」による地方創生推進士の認定など学生の地元定着を目指した教育研究に取り組んだ。

<2-④ 情報発信力の強化>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>全国における本県の魅力度</b>  	現況値 2020年 (2020年夏調査)	目標値	目標値	32	28	24	20
	33	20	実績値	33	35		
	33	20	達成率(%)	—	—		
	単位	位	達成度	2	1		
	指標の説明	民間シンクタンク調査による47都道府県の魅力度の全国順位					
<b>県の働きかけによる首都圏等テレビ露出の広告換算額</b>  	現況値 2017～2019 年度の平均	目標値	目標値	20	20	26	26
	26	26	実績値	26	27		
	26	26	達成率(%)	130.0	135.0		
	単位	億円/年	達成度	5	5		
	指標の説明	首都圏等のメディアへの働きかけにより、県の情報が露出された首都圏等のテレビ番組(地上波)を広告料として換算した額					
<b>県公式SNSのフォロワー等の数</b>  	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	38	47	56	63
	77	140	増加数 実績値	46	72		
	77	140	達成率(%)	121.1	153.2		
	単位	千人	達成度	5	5		
	指標の説明	県の魅力発信に活用しているフェイスブック、ツイッター、インスタグラムのフォロワー数等の計(達成率は現況値からの増加数で算出)					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・積極的な首都圏メディアへの誘致活動やSNSでの情報発信に努めたことから、「県の働きかけによる首都圏等テレビ露出の広告換算額」、「県公式SNSのフォロワー等の数」は目標を上回った。本県の強みである資源や素材の魅力を全国に浸透させるため、今後とも、様々な媒体により、効果的に情報発信をする必要がある。
- ・「晴れの国おかやま検定」について、表彰制度や様々な広報媒体を活用したPR、検定応援サイトの利便性向上などに取り組んだ結果、受験者数の伸びにつながった。
- ・2022年度の首都圏アンテナショップ来館者数は約40万人で、新型コロナウイルス感染症拡大前の8割程度まで回復した。オンラインショップ運営、テイクアウトメニュー提供、出張販売等を含む店舗全体の売上は過去最高となるなど、県産品の販売拡大を通じ、魅力発信に取り組んだ。

## 対策3 地域の持続的発展のための経済力の確保

基本目標3	持続的に発展できる経済力を確保する
基本目標の概要	生産年齢人口の減少や国内市場の縮小が想定される中、人手不足や市場の変化に対応する必要があるほか、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式への対応が求められている。また、若者の県内定着や、安心して結婚、出産、子育てを行うことができる安定した雇用や収入の確保のため、本県の経済を維持・発展させる必要がある。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響や、これに起因する生産拠点の国内回帰や地方への企業分散の動向を把握するとともに、企業の投資を一層促進する必要がある。

### 1 対策

#### (1) 数値目標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>従業員1人当たり売上高(生産性向上指標)</b> 	現況値 2018年	目標値	目標値	26,100	27,300	27,700	28,600
	28,254	28,600	実績値	25,058	※ 24,724		
	単位	千円/年	達成率(%)	96.0	90.6		
	指標の説明	企業活動基本調査に基づく県内企業の売上高を従業者数で除した額 ※2022年実績は2024年6月頃に公表されるため、2021年実績により評価する。					

#### (2) 検証結果

・生産性の向上と産業の活性化の促進のため、意欲ある県内企業に対する研究開発支援や指導・助言等により、新技術・新製品開発を促進するとともに、各種展示会への出展支援等により、海外も含めて新規受注先獲得の機会を望んでいる県内企業のビジネスマッチングと取引拡大を図ったほか、フォーラムの開催や専門家派遣を行うなど、多様で柔軟な働き方の推進に努めた。

・数値目標である「従業員1人当たり売上高(生産性向上指標)」は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、2022年度目標値を下回った。

・重要業績評価指標(KPI)については、「企業と大学との共同研究センターにおける産学連携等に向けたマッチング支援件数」をはじめ、「経営革新に取り組む中小企業・小規模事業者数」、「新規立地企業等の投資額」などで目標を達成しているが、「農林水産業産出額」などは目標を達成できなかった。

・研究開発や優れた人材の育成による生産性向上に加え、企業誘致や販路の開拓・拡大などによる県内産業の活性化を推進し、併せて、働き方改革や多様な働き方の実現に取り組むことで、安定した雇用や収入など、生活基盤の確保に向けた取組を強力に進めていく必要がある。

## 2 政策パッケージ

### <3-① 生産性向上の促進>

#### (1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

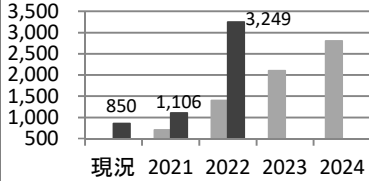
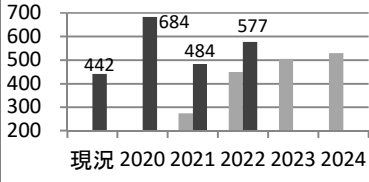
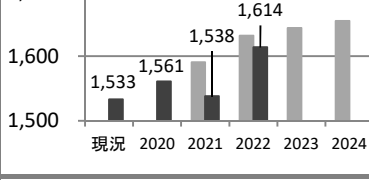
指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>企業と大学との共同研究センターにおける産学連携等に向けたマッチング支援件数</b> 	現況値 2019年度	目標値	目標値	25	50	75	100
			実績値	44	111		
	26件/年	100	達成率(%)	176.0	222.0		
	単位	件	達成度	5	5		
	指標の説明	企業と大学との共同研究センターを通じて、大学等との共同研究に向けて、マッチング支援を行った件数(目標値は2021～2024年度の累計)					
<b>経営革新に取り組む中小企業・小規模事業者数</b> 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	100	200	300	400
			実績値	119	223		
	96社/年	400	達成率(%)	119.0	111.5		
	単位	社	達成度	4	4		
	指標の説明	中小企業等経営強化法に基づき、新事業を行い経営の向上を図ること等を目的とした経営革新計画を作成した中小企業・小規模事業者の数(目標値は2021～2024年度の累計)					
<b>県内大学工学系学生の県内就職率</b> 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	30.6	31.0	31.5	32.0
			実績値	36.4	35.6		
	30.2	32.0	達成率(%)	119.0	114.8		
	単位	%	達成度	4	4		
	指標の説明	県内大学の工学系学部新卒者の就職者数に占める県内への就職者数の割合					

#### (2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・ 県内外の大学生等を対象に、オンラインによる職場見学や社員との交流会を開催し、県内企業の魅力を発信するとともに、プロフェッショナル人材とのマッチング支援を行うなど、県内中小企業の人材の確保等を行った。また、企業と大学との共同研究センターに係る認知が大学コーディネーターや金融機関、支援機関の間で広がり、これら機関の紹介による相談やマッチングが増えた。
- ・ 「経営革新に取り組む中小企業・小規模事業者数」については、(公財)岡山県産業振興財団や商工団体等の支援機関と連携を図ることで目標を達成することができた。
- ・ 産地の規模拡大等による供給力強化や、スマート農業の現地実証、農地の集積・集約化、化学肥料農薬を低減する環境保全型農林水産業の推進等を行った。また、6次産業化に取り組もうとする農林漁業者等の相談対応や、商品開発・販路開拓など取組段階に応じた支援のほか、デジタル技術を活用した販路開拓等の支援を行った。

<3-② 産業の活性化>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>新規立地企業等の投資額</b> 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	700	1,400	2,100	2,800
	850億円/年	2,800	実績値	1,106	3,249	/	/
			達成率(%)	158.0	232.1	/	/
	単位	億円	達成度	5	5	/	/
	指標の説明	新規立地企業の投資額(目標値は2021～2024年度の累計)					
<b>あっせん・サポート等による取引成立件数</b> 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	275	450	505	530
	442	530	実績値	484	577	/	/
			達成率(%)	176.0	128.2	/	/
	単位	件/年	達成度	5	5	/	/
	指標の説明	(公財)岡山県産業振興財団、岡山県中小企業団体中央会等が県内の受注希望企業に取引のあっせん・サポートを行い、成約に至った件数					
<b>県融資制度に占める創業者の融資割合</b> 	現況値 2019年度	目標値	目標値	24.5	24.6	24.7	24.8
	24.3	24.8	実績値	43.8	31.3	/	/
			達成率(%)	178.8	127.2	/	/
	単位	%	達成度	5	5	/	/
	指標の説明	県融資制度のうち、新規創業資金の占める割合					
<b>農林水産業産出額</b> 	現況値 2018年	目標値	目標値	1,591	1,632	1,644	1,655
	1,533	1,655	実績値	1,538	※ 1,614	/	/
			達成率(%)	96.7	98.9	/	/
	単位	億円/年	達成度	3	3	/	/
	指標の説明	農林水産業産出額 ※2022年実績は2024年3月頃に確定するため、2021年実績により評価する。					
<b>観光消費額</b> 	現況値 2015～2019 年の平均	目標値	目標値	1,300	1,600	1,600	1,750
	1,737	1,750	実績値	1,134	1,673	/	/
			達成率(%)	87.2	104.6	/	/
	単位	億円/年	達成度	3	4	/	/
	指標の説明	観光入込客の消費総額					

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・「新規立地企業等の投資額」については、企業の投資意欲が高い状態が続いていることもあり、目標を大きく上回る結果となった。また、産業用地の確保・物流機能の強化に向けた取組として、ハード及びソフトの両面から水島港の優位性を向上させ、玉島ハーバーアイランドにおける企業立地が進んだほか、交通基盤整備では、主要渋滞箇所について、渋滞要因を分析し、計画的に渋滞対策を進めた。
- ・意欲ある県内企業に対する研究開発支援や指導・助言等により、新技術・新製品開発を促進するとともに、各種展示会への出展支援等により、海外も含めて新規受注先獲得の機会を望んでいる県内企業のビジネスマッチングと取引拡大に寄与した。また、創業を目指す女性起業家等を総合的に支援することで、女性の創業を促進した。
- ・主食用米の取引価格低下や豊作傾向の影響で、米、野菜の産出額は対前年比で減額となったものの、特に畜産関係や果実をはじめとして、林業、水産業においても、生産量や出荷量の増加、単価上昇等が追い風となったこと、国内外に向けた情報発信やECサイトを活用した販売促進など、戦略的なマーケティング活動を推進したことにより、「農林水産業産出額」は対前年比76億円の増額となった。
- ・岡山デスティネーションキャンペーンの開催による誘客効果や、水際対策の緩和によるインバウンドの段階的な回復などにより、「観光消費額」は前年より増加した。岡山後楽園での幻想庭園などイベントの実施及び、今後のクルーズ客船誘致のためのポートセールスや宇野港の認知度を高める広告掲載等に引き続き取り組み、より一層誘客を図る必要がある。

<3-③ 働き方改革の推進>

(1)重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>1人当たり年間総実労働時間</b> 	現況値 2019年	目標値	目標値	1,735	1,718	1,701	1,684
	1,771	1,684	実績値	1,735	1,728		
			達成率(%)	100.0	99.4		
	単位	時間	達成度	4	3		
	指標の説明	事業所規模30人以上の1人当たり年間総実労働時間数					
<b>女性の生産年齢人口に対する常用労働者の割合</b> 	現況値 2019年	目標値	目標値	61.3	62.3	63.5	64.7
	62.4	64.7	実績値	64.1	64.4		
			達成率(%)	104.6	103.4		
	単位	%	達成度	4	4		
	指標の説明	女性のうち、生産年齢人口(15～64歳)に対する常用労働者(期間を定めずに、又は1カ月を超える期間を定めて雇用されている者)の割合					

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・多様で柔軟な働き方を推進するフォーラムの開催や、働き方改革の取組を促進するため専門家派遣を行うなど企業の取組を支援した。「1人当たり年間総実労働時間」は1,728時間と減少傾向を示していることから、引き続き多様な働き方に向けた企業の取組を支援する必要がある。
- ・企業向け研修会や女性向け交流会、企業への専門家派遣、男性の家庭生活参画促進セミナーの実施により、企業における男女が共に働きやすい職場環境づくりや女性活躍、働き方改革の取組を支援することで、「女性の生産年齢人口に対する常用労働者の割合」は64.4%となり、目標を達成することができた。
- ・障害者就業・生活支援センターを核とし、雇用と福祉が連携した取組を推進した結果、一般就労への移行者数は着実に増加している。就労定着支援にも重点的に取り組み、障害のある人の就労を一体的に支援していく必要がある。

## 対策4 地域の持続的発展のための活力の維持

基本目標4	地域の活力を維持する
基本目標の概要	人口減少や高齢化の進行により、生活サービス産業や公共交通の撤退、住民組織の担い手不足など、地域社会の活力が失われつつある中、引き続き地域で安心して暮らしていくため、小さな拠点の形成促進、集落機能の維持・確保、地域住民自らが地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する仕組みづくりの推進、道路環境の整備などが必要である。

### 1 対策

#### (1) 数値目標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する地域運営組織の数</b> 	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	32	42	52	62
	258	320	増加数 実績値	34	40		
	単位	組織	達成率(%)	106.3	95.2		
	指標の説明	集落機能の維持・強化に向け、地域で暮らす人々が中心となって、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織の数(達成率は現況値からの増加数で算出)					
			達成度	4	3		

#### (2) 検証結果

・地域の活力の維持に向けて、地域運営組織の多様な活動の核となる拠点施設の整備を支援したほか、交通難所の改善を推進した。また、自主防災活動の重要性の啓発、自主防災組織の中核となる防災リーダーの養成、犯罪発生状況の分析に基づく各種犯罪抑止対策の推進による安全・安心な地域づくりに取り組んだ。

・数値目標である「地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する地域運営組織の数」は、目標は達成できなかったが、人口減少や高齢化が進行する中で地域の生活や暮らしを守るため、市町村においても地域運営組織の設立・充実を図る気運が高まっており、市町村の地域運営組織設立等に向けた取組が円滑に進むよう、5市町に対して地域支援体制整備等を支援した。

・重要業績評価指標（KPI）については、「集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数」をはじめ、「地域おこし協力隊の新規着任数」、「農家民宿延べ宿泊者数」などで目標を達成しているが、「地域の拠点性を高めることにつながる交通難所改善箇所数」などは目標を達成できなかった。

・人口減少や高齢化が進行する中であっても、地域の特性を踏まえた拠点機能の維持・強化に取り組むとともに、地域社会の活性化、地域の防災力強化及び地域医療・福祉の確保を図ることで、すべての人が安心して暮らし続けることができる活力ある地域づくりを強力に進めていく必要がある。



## 2 政策パッケージ

### <4-① 拠点機能の確保>

#### (1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数</b> 	現況値 2019年度	目標値	増加数	4	6	8	9
			目標値	<40>	<42>	<44>	<45>
	36	45	増加数	5	11		
			実績値	<41>	<47>		
	単位	箇所	達成率(%)	125.0	183.3		
達成度			5	5			
指標の説明	集落生活圏を維持するため、日常生活に必要なサービス機能の維持・確保を図る小さな拠点の形成数(達成率は現況値からの増加数で算出)						
<b>地域の拠点性を高めることにつながる交通難所改善箇所数</b> 	現況値 2019年度	目標値	目標値	50	100	150	200
			実績値	46	97		
	47箇所/年	200	達成率(%)	92.0	97.0		
			達成度	3	3		
	指標の説明	拠点的地域等の機能強化や日常生活の利便性向上につながる交通難所改善箇所数(目標値は2021~2024年度の累計)					

#### (2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・地域の特性を踏まえた拠点機能の強化のため、前年度に拠点形成計画を策定したモデル地区において地域運営組織の多様な活動の核となる拠点施設整備を支援するなどの取組により、「集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数」は累計47箇所と目標を達成することができた。
- ・地域の生活を支える道づくりでは、すれ違いが困難な箇所などの交通難所を累計97箇所改善し、中山間地域等の拠点的地域の機能強化などに取り組んだ。また、道の駅における地方創生の拠点としての取組では、利便性向上のため、ベビーコーナーの設置を市町村へ働きかけた。
- ・拠点間を結ぶ広域的・幹線的なバス路線等を、国、市町村、事業者と役割分担しながら維持・確保するとともに、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に取り組む市町村を支援したことで、地域公共交通の維持・確保に向けた取組が進んだ。
- ・持続可能な都市づくりの促進として、集約型都市構造の実現に向けたまちづくりに取り組む市町村に対し、国の支援制度や先進事例の紹介などの必要な助言を行い、2022年度までに10市町が立地適正化計画等を策定した。

### <4-② 地域社会の活性化>

#### (1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>地域おこし協力隊の新規着任数</b> 	現況値 2019年度	目標値	目標値	63	63	63	63
			実績値	56	80		
	63	63	達成率(%)	88.9	127.0		
			達成度	2	5		
	指標の説明	都市部から地方へ移住し、地域の新たな担い手として期待される「地域おこし協力隊」の県内新規着任数					

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>農家民宿延べ宿泊者数</b> 	現況値 2019年度	目標値	目標値	2,100	3,300	4,600	6,000
	4,986	6,000	実績値	3,928	5,513		
			達成率(%)	187.0	167.1		
	単位	人/年	達成度	5	5		
	指標の説明	「晴れの国おかやま農家民宿」における延べ宿泊者数					
<b>おかやま県民文化祭の主催・参加プログラム件数</b> 	現況値 2019年度	目標値	目標値	179	182	186	190
	176	190	実績値	173	179		
			達成率(%)	96.6	98.4		
	単位	件	達成度	3	3		
	指標の説明	2003年から毎年開催されている県民総参加の文化の祭典「おかやま県民文化祭」の主催・参加プログラム件数					

## (2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

・地域おこし協力隊の活用促進のほか、おかやま元気！集落制度による集落機能の維持・確保に向けた地域の自主的な取組の支援・ボランティア派遣等による地域づくりへの民間参加の促進等に取り組み、目標を達成することができた。また、多言語による生活相談・情報提供のほか、日本語講座の開設等を通じた多文化共生の地域づくりを推進した。

・SNSやホームページ等により農家民宿等の魅力を発信するとともに、地域をけん引する人材の育成やインバウンドの受入れに向けた講座を開催し、農山漁村地域への誘客促進を図ったことにより目標を達成することができた。

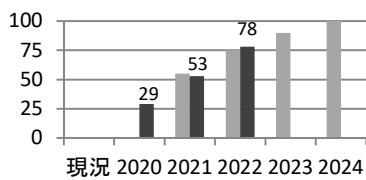
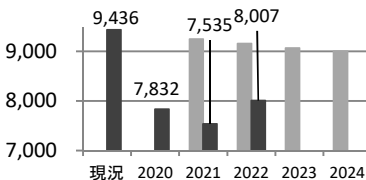
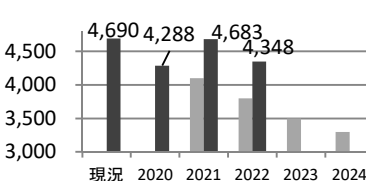
・長引く新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「おかやま県民文化祭の主催・参加プログラム数」の目標は未達成であったが、市町村や文化関係団体等と連携し、美作三湯芸術温度など地域資源を活用した各種文化芸術イベントを展開することで文化による地域の活性化を図った。

・必要な障害福祉サービス等の確保や障害特性に応じた就労への支援を行うとともに、障害のある人のアートギャラリーや障害者スポーツ教室を開催した。また、社会貢献や健康づくりなどに主体的に取り組む老人クラブの活動を支援することにより、高齢者の生きがいづくりや社会参加活動を促進した。

## <4-③ 安全・安心な地域づくり>

### (1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>自主防災組織率</b> 	現況値 2020年4月	目標値	目標値	88.7	90.2	91.7	93.0
	87.2	93.0	実績値	87.9	87.9		
			達成率(%)	※ <88.0>			
	単位	%	達成度	99.1	97.5		
	指標の説明	管内世帯数に占める自主防災組織が活動範囲としている地域の世帯数の割合(速報値) ※確定値					

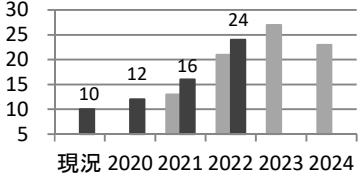
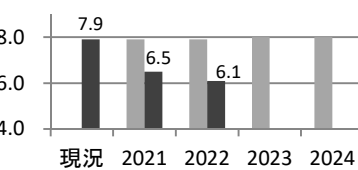
指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>河道内整備の実施延長</b> 	現況値 —	目標値	目標値	55	75	90	100
	—	100	実績値	53	78	/	/
	—	100	達成率(%)	96.4	104.0	/	/
	単位	km	達成度	3	4	/	/
	指標の説明	土砂堆積や樹木繁茂により流水が阻害されている箇所のうち、優先度が高く対策が必要な箇所の河道内整備の実施延長					
<b>刑法犯認知件数</b> 	現況値 2019年	目標値	目標値	9,249	9,157	9,065	9,000
	9,436	9,000	実績値	7,535	8,007	/	/
	9,436	9,000	達成率(%)	122.7	114.4	/	/
	単位	件/年	達成度	5	5	/	/
	指標の説明	警察において発生を認知した刑法犯事件の数					
<b>人身交通事故件数</b> 	現況値 2019年	目標値	目標値	4,100	3,800	3,500	3,300
	4,690	3,300	実績値	4,683	4,348	/	/
	4,690	3,300	達成率(%)	87.6	87.4	/	/
	単位	件/年	達成度	3	3	/	/
	指標の説明	警察において発生を認知した、人の死亡又は負傷を伴う交通事故の数					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・市町村と連携し、自主防災活動の重要性を県民に啓発するとともに、自主防災組織の中核となる防災リーダーの養成に取り組んできており、「自主防災組織率」は目標値90.2%に対し、実績値87.9%となっている。
- ・2022年度までに総延長78kmの河道内整備を実施した。引き続き、効果的、効率的に河道内整備に取り組み、安全・安心な地域づくりにつなげる。
- ・「刑法犯認知件数」については、行動制限が緩和されたこともあり前年比では増加したが、犯罪発生状況の分析に基づき、各種犯罪抑止対策を推進した結果、目標を達成することができた。また、「人身交通事故件数」については、生活道路等の安全確保に向けた交通指導取締り等を推進した結果、前年比で減少した。
- ・水害、高潮・津波、土砂災害、大規模地震発生に備え、河道内整備、護岸等の整備、特に重要な緊急輸送道路上の橋梁の耐震化などに取り組んだ。また、空き家の適正管理、利活用の推進では、空き家の除却に取り組む市町村への支援や空き家の利活用に関するフォーラムの開催などを行った。

<4-④ 医療・福祉の確保>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
<b>県内の医師不足地域の医療機関に勤務する地域卒卒業医師数</b> 	現況値 2020年4月	目標値	目標値	13	21	27	23
	10	23	実績値	16	24	/	/
			達成率(%)	123.1	114.3	/	/
	単位	人	達成度	5	4	/	/
	指標の説明	県の医師確保対策として岡山大学及び広島大学の医学部医学科に設置している地域枠コースを卒業し、県内の医師不足地域の医療機関に勤務する医師の数					
<b>介護予防のための通いの場への参加率</b> 	現況値 2019年度	目標値	目標値	7.9	7.9	8.0	8.0
			実績値	6.5	※ 6.1	/	/
	7.9	8.0	達成率(%)	82.3	77.2	/	/
	単位	%	達成度	3	2	/	/
	指標の説明	介護予防等を目的とした「通いの場」への高齢者の参加率 ※2022年度実績は2024年度4月頃に公表されるため、2021年度実績により評価する。					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・ 地域医療支援センターがマッチングを行い、目標を上回る24人の地域卒卒業医師が県内の医師不足地域の医療機関で勤務することとなった。また、地域医療構想の実現に向けた取組の結果、回復期病床が前年度比222床増加した。
- ・ 「介護予防のための通いの場への参加率」は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、6.1%に留まった。
- ・ 介護職場認証評価制度の実施により、働きやすい職場環境づくりに取り組む事業所の認証を行い、確認した取組内容を公表することで、事業所の切磋琢磨を促し、福祉・介護業界全体のレベルアップ、福祉・介護職員の定着、求職者に選んでもらえる職場づくりを進めた。

## 基本目標の数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の類型と評価

類型	評価の考え方	達成度の評価基準
実数又は割合で示す指標	<p>&lt;計算方法&gt; 達成率＝実績値／目標値</p> <p>削減目標の場合 達成率＝目標値／実績値</p>	<p>5：達成率が120%以上 4：達成率が100%以上120%未満 3：達成率が80%以上100%未満 2：達成率が50%以上80%未満 1：達成率が50%未満</p> <p>&lt;達成率が上限100%の場合&gt; 5：達成率が100% 4：達成率が90%以上100%未満 3：達成率が70%以上90%未満 2：達成率が50%以上70%未満 1：達成率が50%未満</p>
全国順位で示す指標	<p>効果的な取組により、現状の改善と目標の達成が求められるものであるから、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標より上位となった場合 5</li> <li>・目標を達成した場合 4</li> <li>・現状を維持した場合 2</li> </ul> <p>として評価する。</p>	<p>5：目標値より上位 4：目標値 3：目標値と現況値の中間値以上 2：現況値以上 1：現況値より下位</p>
<p>実数で示す指標のうち、現況維持に意義があり、現況値に対する最終目標値の増減割合が極めて小さい指標</p> <p>(最終目標値／現況値が0.9以上1.1以下)</p>	<p>&lt;計算方法&gt; 達成率＝実績値／目標値</p> <p>削減目標の場合 達成率＝目標値／実績値</p>	<p>5：達成率が110%以上 4：達成率が100%以上110%未満 3：達成率が90%以上100%未満 2：達成率が80%以上90%未満 1：達成率が80%未満</p>